



みちのく震録伝

東北大学アーカイブプロジェクト

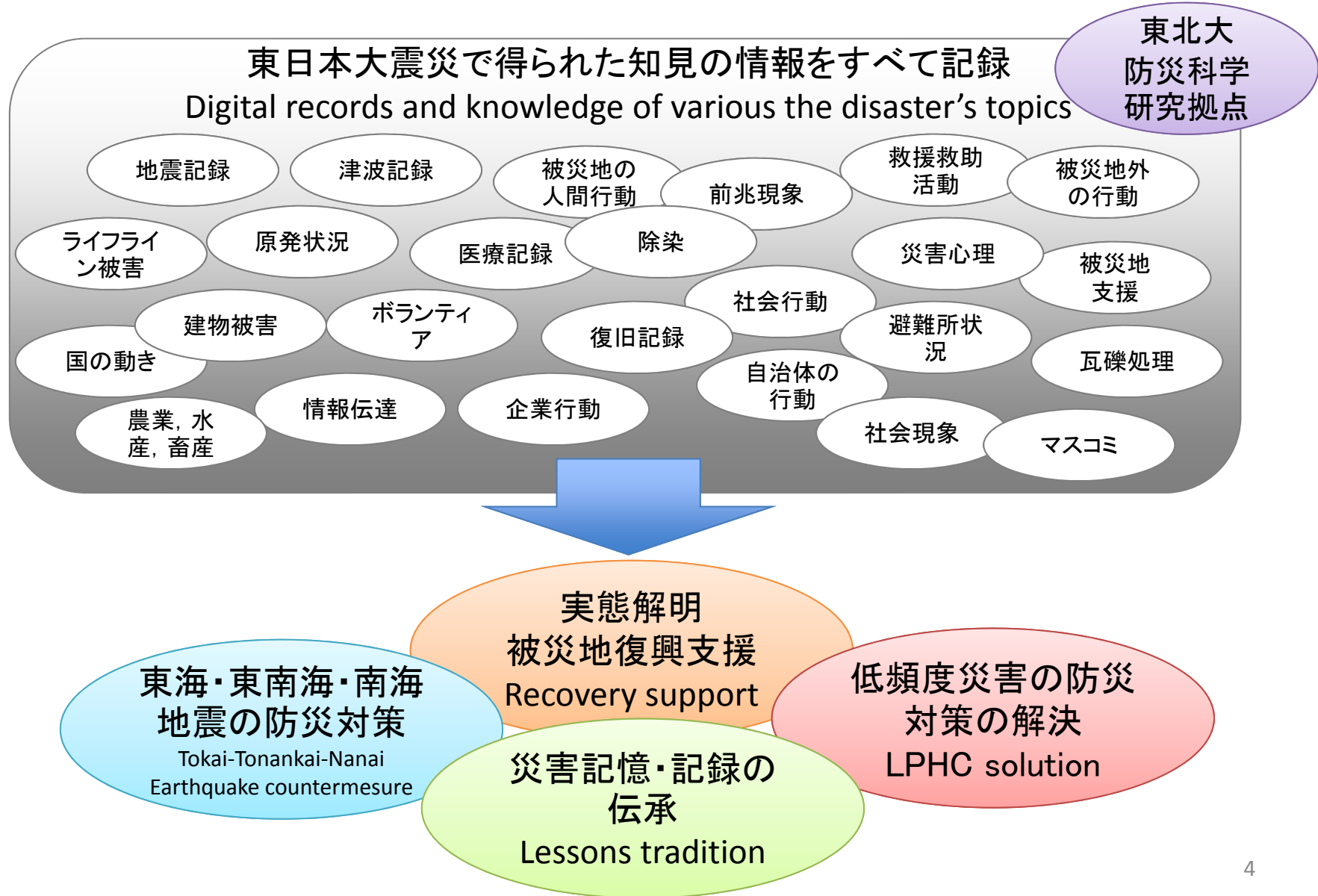
“Michinoku-Shin-Roku-Den”
Digital Archive Project of
The 2011 Great East Japan Earthquake Disaster

東北大学防災科学研究拠点

The Research Group on Disaster Prevention and Management

みちのく震録伝の目的

Mission of "Michinoku Shin-Roku-Den"



みちのく震録伝の10の基本理念

10 Basic Concepts

1. 学術的な観点からあらゆる「記憶」、「記録」、「事例」、「知見」を収集するとともに、あらゆる可能性を否定せずに幅広く情報を収集し、アーカイブすること。
2. 東日本大震災をはじめとする災害記録をアーカイブするとともに、東北地方の過去・未来の災害についてもアーカイブすること。
3. 災害に関して得られた知見を即座に防災・減災対策に結び付けられるかたちで情報発信すること。
4. アーカイブと利用者間の対話の中から、継続的に成長するシステムであること
5. 災害発生以降の被災地の復旧・復興過程の現況を継続的に(時間的な観点)東北地方の沿岸部から内陸部まで空間的に記録(空間的な観点)すること。
6. 他機関の様々な震災アーカイブや社会サービスと横断的に連携すること。
7. 災害アーカイブのグローバル・スタンダードを目指すこと。
8. 大学、研究所、行政、企業等の防災・減災システムと連携し、対策・対応を支援すること。
9. 様々な環境に応じた防災・減災教育に関する情報で提供できること(e-Learning等)。
10. アーカイブシステムの構築に伴い、東北地方を中心に雇用を創出すること。

賛同・協力機関 ※赤字は6ヶ月報告会后に賛同協力された機関

Our Project's Contributors (74 Organizations)

【行政、自治体、独立行政法人等】

宮城県、仙台市、文部科学省、総務省、国立国会図書館(NDL)、科学技術振興機構(JST)、株式会社河北新報社、国立情報学研究所(NII)、国際協力機構(JICA)、東北大学史料館、東北大学防災科学研究拠点、東北大学附属図書館、とうしんろく日本画像情報マネジメント協会(JIIMA)、ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所、日本弁護士連合会(災害復興支援)、防災科学技術研究所

【企業】

日本アイ・ビー・エム株式会社、アジア航測株式会社、朝日航洋株式会社、EMCジャパン株式会社、株式会社インテージ、インフォコム株式会社、株式会社インフォマティクス、株式会社ウェザーニューズ、株式会社NHKメディアテクノロジー、NTT空間情報株式会社、ESRIジャパン株式会社、株式会社クレスソフト、グローバル・サーベイ株式会社、株式会社昭文社、国際航業株式会社、株式会社ジムコ、株式会社ゼンリンデータコム、測地衛星技術株式会社、株式会社電通、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社トータルメディア開発研究所、株式会社トプコンソキアポジショニングジャパン、株式会社ニチマイ、ニホンモニター株式会社、ネットワークダイナミクス株式会社、株式会社博報堂、株式会社パスコ、ビクターアドバンスメディア株式会社、株式会社ビデオリサーチ、ヒューマンリソシア株式会社、マルティスーパ株式会社、株式会社ワンビシアークाइブズ

【東北地方企業】

アジア航測株式会社仙台支店、朝日航洋株式会社東北空情支社、株式会社インテグ、NECソフトウェア東北株式会社、株式会社NHKメディアテクノロジー東北支社、株式会社NTTデータ東北、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東北支社、応用地質株式会社東北支社、株式会社北日本朝日航洋、国際航業株式会社東日本事業本部東北支社、今野印刷株式会社、株式会社草野測器社、株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所、株式会社ザッツ福島、株式会社仙台測器社、株式会社仙台博報堂、株式会社DSG、株式会社電通東日本、株式会社日立東日本ソリューションズ、株式会社富士通東北システムズ、株式会社ビデオリサーチ東北支社、ヒューマンリソシア株式会社仙台支社、株式会社プレシード、日本総合システム株式会社仙台支社、株式会社山形測器社、株式会社ワンビシアークाइブズ 東北第1センター

收集活動
ACTIVITIES FOR DATA & INFORM
COLLECTING

宮城県の沿岸部15市区町に 現地調査員(みちのく・いまをつたえ隊)を派遣 Dispatching field Information Collectors

調査機関: 2012年2月始めから3月末まで

調査内容: => 3月10日付け河北新報朝刊

- 現地調査員の派遣・フィールドワーク
- 非構造化インタビューによる情報収集・仮説導出
- 官公庁・自治体・研究団体で行われているアンケート調査事情の把握

隊員:

- 被災地の失業者等を中心として現地雇用



協力: サーベイリサーチセンター



独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

被災地図書館と協力した震災記録の収集活動

Cooperation with libraries in the affected areas

震災記録を 図書館に

図書館は震災記録を収集しています。
図書館は震災記録を永久に保存します。
図書館は震災記録を公開し後世に伝えます。

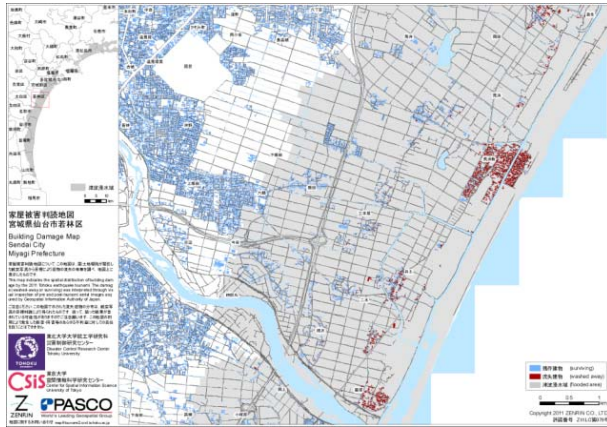
皆さまがお持ちの震災記録を、
ぜひ図書館にお届けください。

調査報告書、復旧・復興計画書など
フリーペーパー、ミニコミ誌、チラシなど
イベント・セミナー・相談会等のチラシなど
各種活動記録(ボランティア記録など)
学校だより、会報、広報誌など
個人・団体が作成した文集・体験記・手記など

岩手県立図書館
宮城県図書館
福島県立図書館
仙台市民図書館
岩手大学情報メディア
センター図書館
東北大学附属図書館
福島大学附属図書館
神戸大学附属図書館

アーカイブデータの公開
PUBLICATION & PARTIAL RELEASE

これまでの公開データ publication & Partial Release



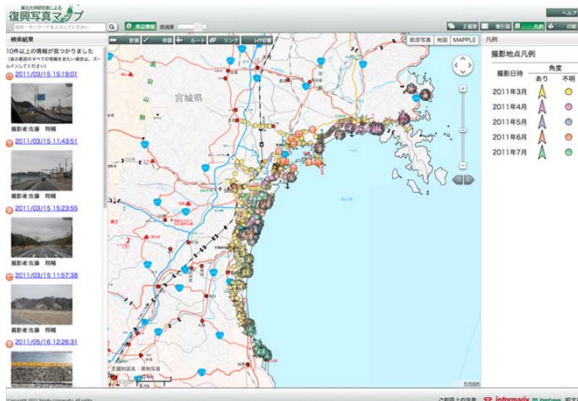
実態調査地図



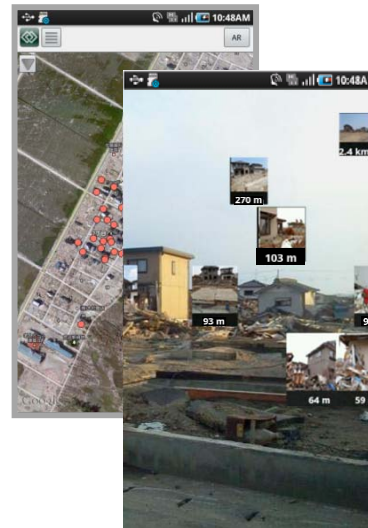
トレンド分析



3D動画



研究者写真の公開





ARで現地で被災直後の
写真閲覧



道路からの水平360度映像の公開

津波シミュレーションの公開

land survey data and tsunami simulation

国際航業株式会社   東北大学アーカイブプロジェクト

国際航業(株)は、東北大学が進めている東日本大震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」の賛同協力機関です。当社の所有している地震発生後に撮影した航空写真や、津波シミュレーション解析結果等の資料が、今後の復興と未来のためにお役に立てれば幸いです。本サイトでは、当社の東日本大震災ライブラリーで公開されている一部のコンテンツを、地図上から見ることが出来ます。画面左側のパネルのチェックボックスにチェックを入れると、地図上にアイコンが表示されます。地図上に表示されたアイコンをクリックすると、コンテンツを閲覧することが出来ます。

表示データ

- 斜め航空写真①
- 斜め航空写真②
- 斜め航空写真③
- 津波シミュレーション

[利用上の注意](#)

地図 航空写真 地図+写真 地形 Earth

岩手県釜石港

■東北地方太平洋沖地震 津波シミュレーション【岩手県:釜石港】
*背景図:イコノス画像

■東北地方太平洋沖地震 津波シミュレーション【岩手県:釜石港】
*背景図:地形図

東日本大震災津波シミュレーション【岩手県:釜石港】

0時間 0分 0秒 地震発生後経過時間 釜石港周辺

国際航業株式会社 JSI

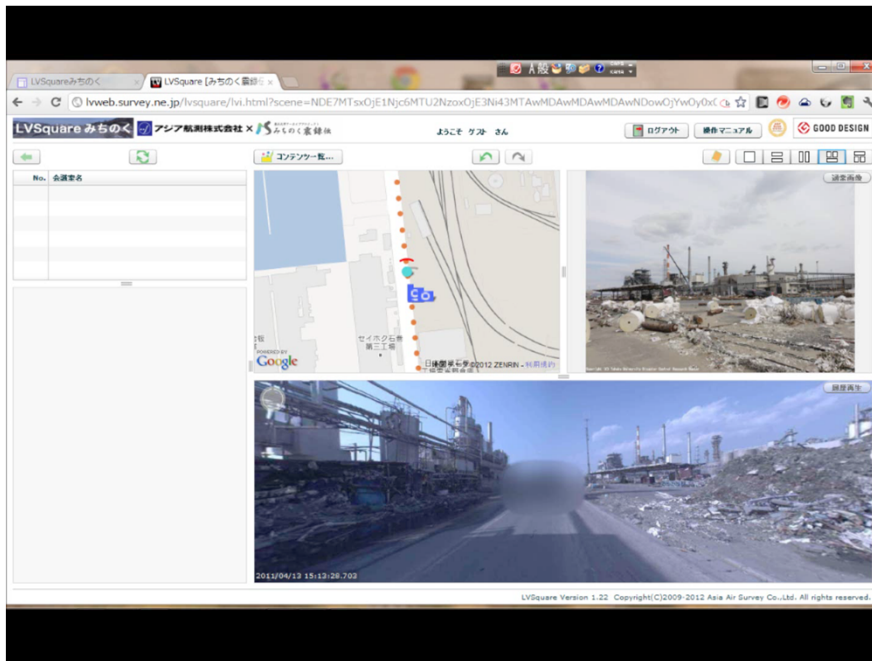
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO
Image © 2012 GeoEye
Image © 2012 DigitalGlobe

Google earth 利用規約

協力: 国際航業株式会社

航空写真, 360度画像, レーザ測量結果の公開

Mixture of ground and aerial photographs



LVSquare (複合情報の公開)



レーザ測量結果
(非公開研究データ)

協力: アジア航測

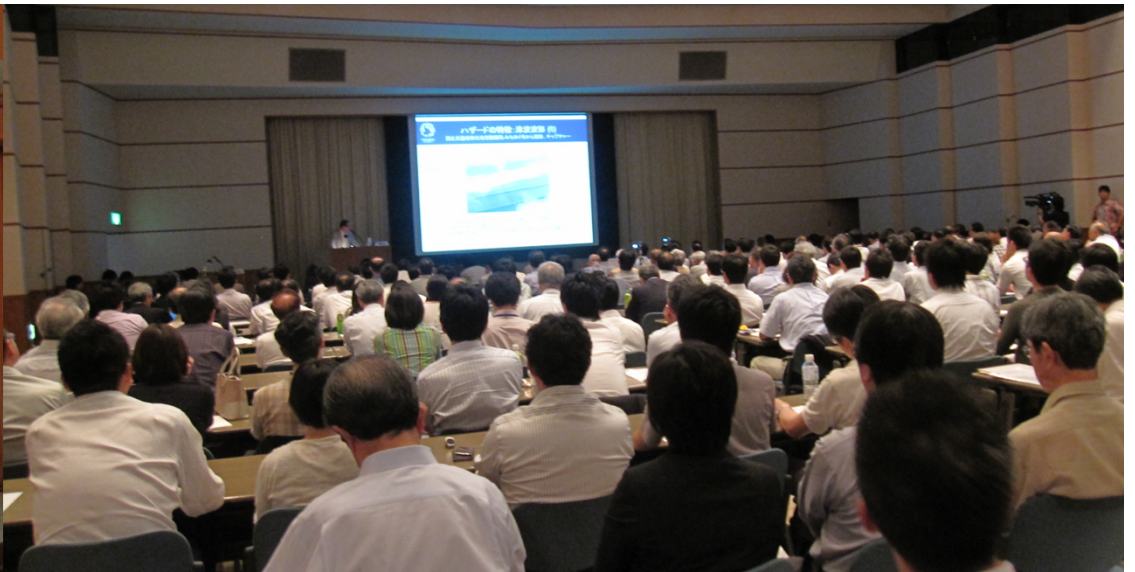
他機関との協力体制
COLLABORATION FRAMEWORK
WITH OTHER ARCHIVE PROJECTS

東日本大震災アーカイブ国際合同 シンポジウムの開催

International symposium of the 2011's disaster digital archive



時間	内容	登壇者（敬称略）
10:00	開会の挨拶と趣旨説明	アンドリュー・ゴードン
東日本大震災アーカイブの最前線（1）：官・民（各15分）		
10:15	国立国会図書館の取り組み	原田久義
10:30	総務省の取り組み	黒瀬泰平
10:45	Yahoo! JAPANの取り組み	高田正行
11:00	saveMLAKの取り組み	岡本真
11:15	The Internet Archiveの取り組み	クリスティーン・ハンナ
休憩（15分）		
東日本大震災アーカイブの最前線（2）：学（各15分）		
11:45	防災科学研究所の取り組み	長坂俊成
12:00	東北大学の取り組み	今村文彦, 柴山明寛
12:15	ハーバード大の取り組み	アンドリュー・ゴードン
お昼休み（1時間15分）		
過去の日本の大震災のアーカイブを学ぶ（45分）		
13:45	【特別講演】 阪神・淡路大震災における神戸大学附属図書館の取り組み	稲葉洋子
東日本大震災アーカイブの最前線（3）：被災地（各15分）		
14:30	河北新報の取り組み	八浪英明
14:45	せんだいメディアテークの取り組み	甲斐賢治
15:00	宮城県図書館の取り組み	熊谷慎一郎
15:15	岩手県立図書館の取り組み	稲森雅夫
15:30	東北大学附属図書館の取り組み	米澤誠
15:45	福島イノベーションセンターの取り組み	後藤浩
休憩（15分）		
総合討論（1時間）		
16:15	パネルディスカッション コーディネーター：アンドリュー・ゴードン, 今村文彦	登壇者全員
17:15	閉会の挨拶	今村文彦





2011年東日本大震災
デジタルアーカイブ
ハーバード大学

**Digital Archive for the 2011 East Japan
earthquake & tsunami
by Harvard University**

New JDArchive user interface

http://jdarchive.org/

The screenshot shows the website 'Digital Archive of Japan's 2011 Disasters' in a Mozilla Firefox browser. The browser's address bar shows the URL 'http://jdarchive.org/'. The website header includes the title '2011 東日本大震災 デジタルアーカイブ' and navigation links for '日本語', 'English', and 'お問い合わせ'. A large banner image shows a boat on a river with debris, accompanied by a text box in Japanese: '2011年東日本大震災デジタルアーカイブは、皆様一人おひとりと、研究者、そして政策に携わる方が対話し、つながるための参加型空間であり、この震災によって大きな影響を受けた皆様にとって大切な記憶を共有する場所となることを願っています。且 >'. Below the banner is a search bar with a 'go' button. The main content area is divided into '印象的なコレクション' (Impressive Collections) with three thumbnails (a stadium, a map, and a person) and 'アーカイブの内容' (Archive Content) with statistics: '666,552 Tweets / 7,640 Websites / 32,975 Images / 99 Videos / 48 Testimonials'. A 'タグ' (Tags) section lists 'jishin / anpi / jisin / hinan / 311care / sendai / jgs df'. The footer features '協力企業・団体' (Partner Companies/Organizations) with logos for the National Diet Library, Reschaller Institute of Japanese Studies, 311, 5michiku, and 放射線 (Radioactive), along with the slogan '3が11にちまわすれないためにセンター' (Center to prevent 311 from repeating). The Windows taskbar at the bottom shows the Start button, several application icons, and the system tray with the time '3:43 PM'.

アーカイブ団体のコンソーシアムを設立予定 Consortium of digital archive projects



東日本大震災の記録を
各機関で協力

1. メタデータの共有化と
API連携

2. 収集活動の協力体制



3がつ11にちを
わすれない
ためにセンター

福島イノベーションセンター

みちのく震録伝HPのリニューアル(3/11) “Michinoku Shin-Roku-Den” website



ロケ八坂 被災地内外・国内外・官学民の主要なアーカイブプロジェクトが一堂に会し、「この震災をいかに残し、伝えていくのか」、それぞれ...more

「千年に一度だけ」ではない、大津波被害

東日本大震災における津波被害は、「想定外」「千年に一度」と形容されているが、本当にそうだったのでしょうか。今から...more

長い揺れを感じたら大津波の危険



今村教授監修の「防災拭い」。1本の日本手拭いに書かれた津波から身を守るための情報をご紹介します。

- 津波は思っているよりも速い

Contents

トレンドリーダー 「いま注目の震災ニュースは」



震災に関するウェブニュースを統計的に解析し、注目の記事を配信します。また、キーワードの変化によって、被災直後から現在までの状況の移り変わりを知ることができます。
 情報提供 京都大学防災研究所巨大災害研究センター...more

2011年東北太平洋沖地震津波 建物被害地図「東北復興地図作成プロジェクト」

What's New

[2012.03.09 図書館共同キャンペーン「震災記録を図書館に」の実施](#)

[2012.03.06 「聞き書き震災体験 東北大学90人が語る3.11\(新泉社\)」が刊行されました](#)

[2012.03.11 東北大学による東日本大震災1年後報告会が開催されます](#)

[2012.03.01 月刊ニューメディアに「みちのく震録伝」が掲載されました](#)

[2012.02.13 情報収集活動員\(みちのくいまをつたえ隊\)が活動中](#)